

平成 27 年度
路上駐車実態追加調査

報 告 書

【概要版】

公益財団法人 東京都道路整備保全公社

平成 27 年度 路上駐車実態調査(概要版)

1. 調査目的

公益財団法人東京都道路整備保全公社では、東京都 23 区内の主要地区における路上駐車
の状況を把握するため、駐車実態調査及び駐車場利用状況調査を 3 年毎に実施し、平成 26
年度においても全 51 地区（二輪調査は 29 地区）で調査を実施した。

平成 27 年度調査では、過年度の路上駐車実態調査の結果をもとに、路上駐車が発生要因
を把握することを目的として、「需給バランスが整っていないながら、何故路上駐車が多いの
か」といった視点から、路上駐車を行った運転者へのアンケート調査や追跡調査を実施し
た。

また、いくつかの地区において調査エリアの見直しを行い、その上で調査を実施した。

さらに、多摩地区で開発・発展が著しい立川駅周辺を対象地区として新たに調査を実施
(調査内容は過年度と同様) し、駐車実態を把握した。

2. 調査概要

(1) 調査日

各種調査は、下記の日時にて実施した。

平休	調査日	調査地区
【平日】	平成 27 年 10 月 29 日 (木)	神保町駅・秋葉原駅・銀座駅
	平成 27 年 11 月 5 日 (木)	品川駅・高田馬場駅・立川駅北口・立川駅南口・ 新宿駅西口
	平成 27 年 12 月 3 日 (木)	神保町駅・品川駅・高田馬場駅・立川駅北口・ 立川駅南口 (ナンバープレート調査)
【休日】	平成 27 年 11 月 1 日 (日)	神保町駅・日本橋駅
	平成 27 年 11 月 29 日 (日)	品川駅・高田馬場駅・立川駅北口・立川駅南口
	平成 27 年 12 月 6 日 (日)	神保町駅・品川駅・高田馬場駅・立川駅北口・ 立川駅南口 (ナンバープレート調査)

(2) 目的別の調査項目と対象地区

- ① 調査実施範囲見直し調査 : 神保町・品川・高田馬場
- ② 多摩地区調査 : 立川 (北口・南口)
- ③ 路上駐車要因調査 : 秋葉原・新宿西口・銀座・日本橋

区分	地区 (駅名)	平休	車種	調査時間	四輪						二輪			
					①駐車場施設調査	②路上駐車調査	③駐車場利用状況調査	④ナンバープレート調査	⑤路上駐車アンケート調査	⑥追跡調査	①駐車場施設調査	②路上駐車調査	③駐車場利用状況調査	④ナンバープレート調査
調査実施範囲 見直し調査	神保町駅	平休	四輪・二輪	13時～21時	○	○	○	○			○	○	○	○
	品川駅	平休	四輪・二輪	13時～21時	○	○	○	○			○	○	○	○
	高田馬場駅	平休	四輪・二輪	13時～21時	○	○	○	○			○	○	○	○
多摩地区調査	立川駅北口	平休	四輪・二輪	13時～21時	○	○	○	○			○	○	○	○
	立川駅南口	平休	四輪・二輪	13時～21時	○	○	○	○			○	○	○	○
路上駐車 要因調査	ピーク時 実態調査を含む	秋葉原駅	平日	四輪	9時～23時 (⑤、⑥は21時まで)		○	○	○	○	○			
		新宿駅西口	平日	四輪	9時～23時 (⑤、⑥は21時まで)		○	○	○	○	○			
	要因調査のみ	銀座駅	平日	四輪	13時～21時				○	○	○			
		日本橋駅	休日	四輪	13時～21時				○	○	○			

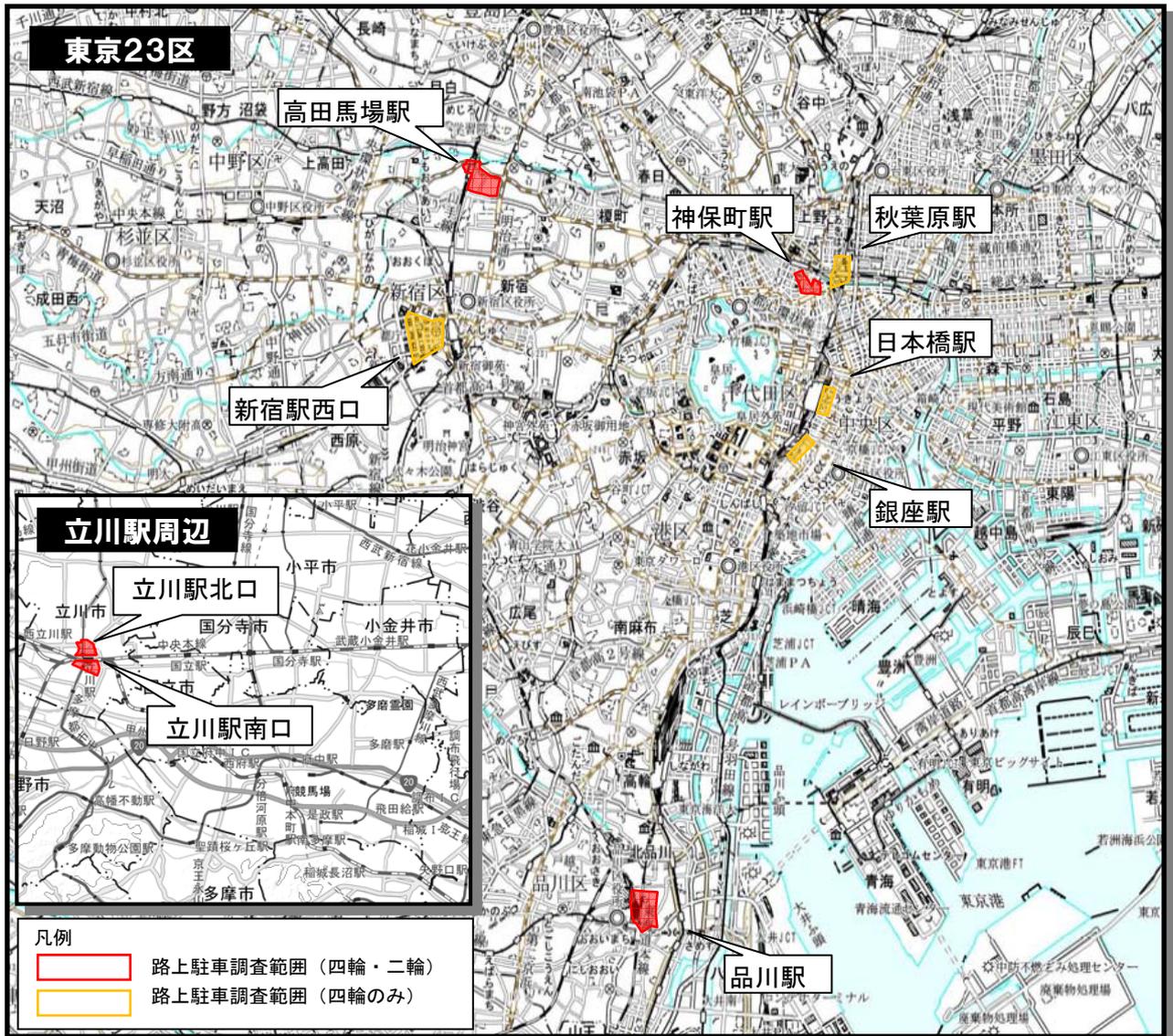


図 調査対象地区

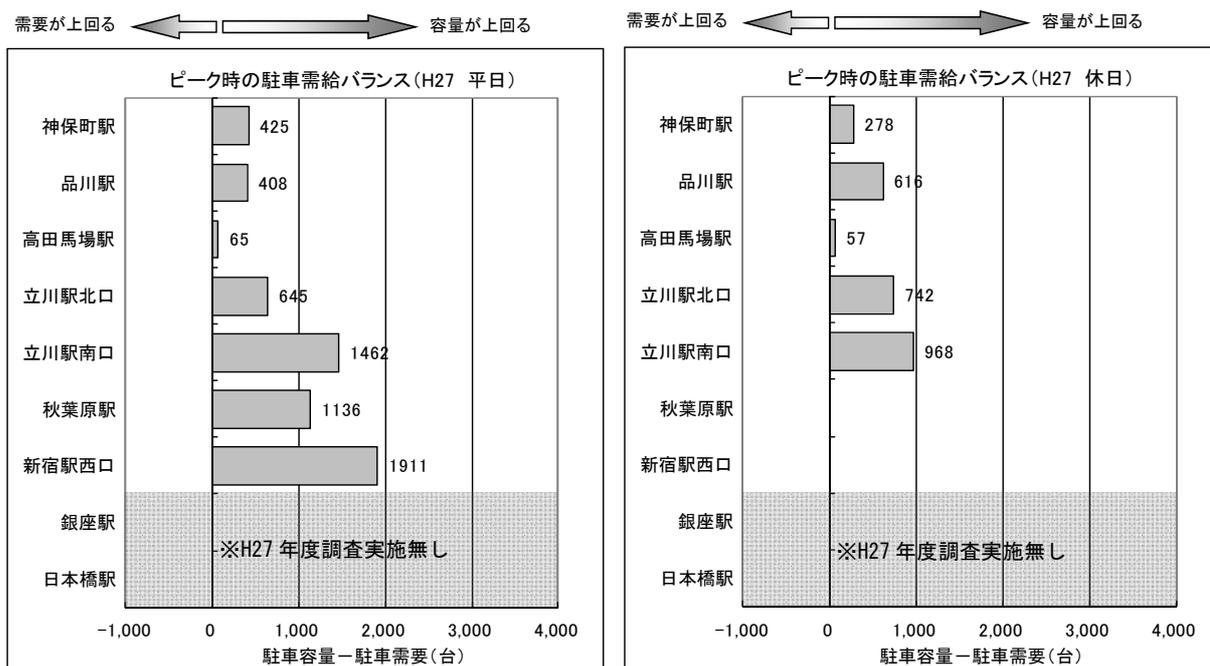
(3) 調査項目

調査項目	調査内容
① 駐車場施設調査	<ul style="list-style-type: none"> 過年度データ及び s-park データ(公社)をもとに、各対象地区における調査範囲の一時預かり駐車場の位置、規模、管理者、運営者等を調査し、データベースを作成
② 路上駐車調査	<ul style="list-style-type: none"> 各対象地区内で概ね 500m×500m の調査範囲を設定 調査日は同一地区において平日・休日の各 1 日を調査 調査時間に含まれる 7 時点(9 時、11 時、13 時、15 時、17 時、19 時、21 時)の路上駐車台数(合法・違法)を車種別にカウントし、路上駐車が多い時間帯、車種、駐車位置等を把握
③ 駐車場利用状況調査	<ul style="list-style-type: none"> 各対象地区内で概ね 500m×500m の調査範囲を設定 調査日は同一地区において平日・休日の各 1 日を調査 調査時間に含まれる 5 時点(13 時、15 時、17 時、19 時、21 時)の駐車場利用台数を調査し、駐車場の利用状況を把握 <四輪>エリア内の主要 5 駐車場が対象 <二輪>エリア内にある全駐車場が対象(全体数が少ないため)
④ ナンバープレート調査	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象区間の乗用車、荷さばき車両などの車種別駐車時間を調査し、駐車傾向を把握 調査開始時間～21 時まで、10 分ごとに路上駐車の種類別のナンバープレートを記録
⑤ 路上駐車アンケート調査(四輪)	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象区間における路上駐車車両の運転者を対象に、路上駐車目的、利用者の意識等を調査 調査開始時間～21 時まで、任意の運転者に対して聞き取り形式でアンケート回答を依頼
⑥ 追跡調査(四輪)	<ul style="list-style-type: none"> 調査対象区間における路上駐車車両の運転者を対象に、路上駐車後の移動経路、目的地を調査 調査開始時間～21 時まで、任意の運転者に対して目視による追跡を実施

3. 路上駐車実態調査の結果

前記、四輪・二輪の調査をもとに、駐車場の整備状況、駐車場の利用状況、路上駐車の実態を踏まえ、駐車需給のバランス等の検討を行った。

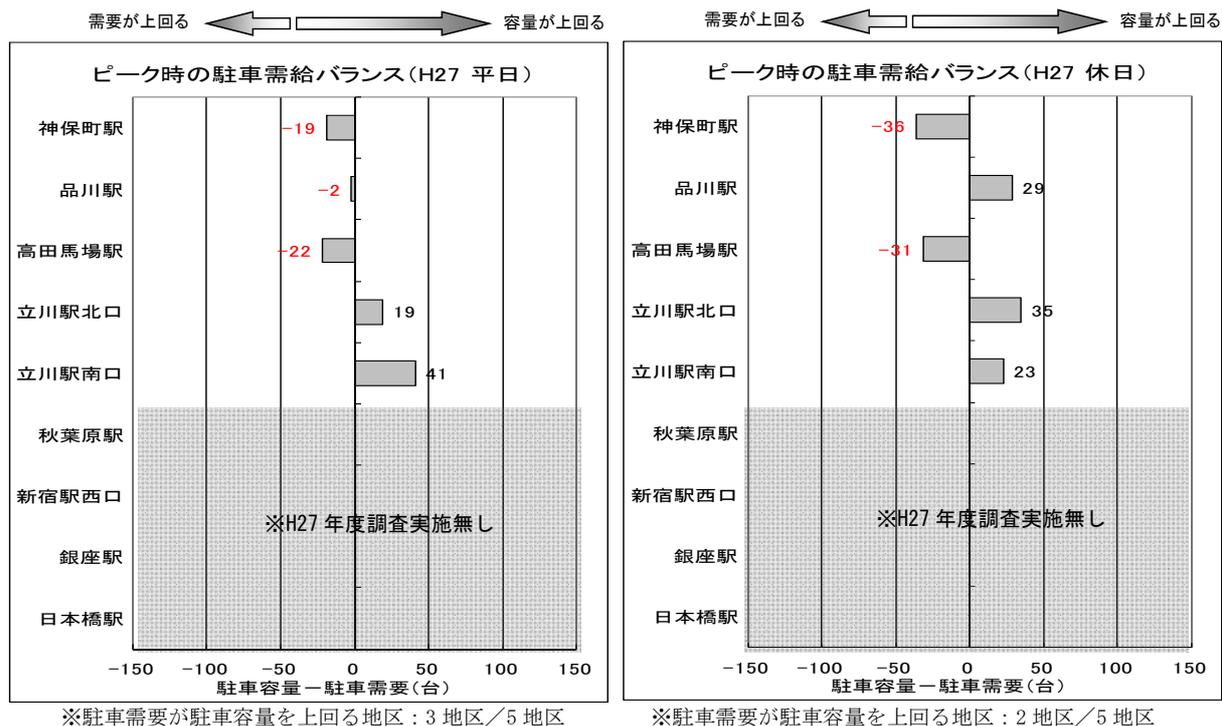
(1) 駐車需給バランスの実態(四輪)



※駐車需要が駐車容量を上回る地区：0 地区/7 地区

※駐車需要が駐車容量を上回る地区：0 地区/5 地区

(2) 駐車需給バランスの実態（二輪）



4 路上駐車要因調査の結果（秋葉原駅・新宿駅西口・銀座駅・日本橋駅）

路上駐車アンケート調査及び追跡調査の結果は、以下のとおりであった。

- 秋葉原地区及び銀座地区では、主に業務目的で路上駐車を行う貨物車両は、多頻度で駐車が行われるわけではなく、週数回の定期的な駐車が多いと考えられる。30分以内の短時間駐車が基本である。
- 新宿西口地区では、主に業務目的で路上駐車を行う乗用車は、月数回程度の駐車頻度が最も多く、低頻度の路上駐車が多いと考えられる。
- 日本橋地区（休日）では、業務・買物目的で路上駐車を行う乗用車は、路上駐車頻度も年数回程度が最も多く、低頻度の路上駐車が多いと考えられる。

地区	アンケート調査結果に基づく駐車実態						
	路上駐車目的	目的施設	路上駐車頻度	車種構成 ()内は実態調査結果	目的地への距離	路上駐車時間	違法・合法区分
①秋葉原駅	業務 : 66%	業務施設 : 79%	毎日 : 21% 週 2, 3 回 : 21% 年数回 : 21%	乗用車 : 43%(40%) 貨物車 : 51%(43%)	違法 : 101m 合法 : 99m	30分以下 : 42% 31~60分 : 28%	違法 : 65% 合法 : 35%
②新宿駅西口	業務 : 70%	業務施設 : 65%	月 2 回 : 85%	乗用車 : 56%(30%) 貨物車 : 40%(38%)	違法 : 92m 合法 : 113m	30分以下 : 54% 31~60分 : 19%	違法 : 52% 合法 : 48%
③銀座駅	業務 : 73%	業務施設 : 90%	毎日 : 37% 週 2, 3 回 : 25%	乗用車 : 32%(61%) 貨物車 : 63%(30%)	違法 : 58m 合法 : 86m	30分以下 : 50% 31~60分 : 24%	違法 : 64% 合法 : 36%
④日本橋駅 ※休日調査	業務 : 31% 買物 : 23%	業務施設 : 42% 公共施設 : 23%	年数回 : 23% 週 1 回 : 19% 月 2 回 : 19%	乗用車 : 76%(84%) 貨物車 : 19%(12%)	違法 : 99m 合法 : -	30分以下 : 54% 61~90分 : 17%	違法 : 100% 合法 : -

4 路上駐車要因の分析

路上駐車実態調査及び路上駐車要因調査の結果を踏まえ、秋葉原駅、新宿駅西口、銀座駅、日本橋駅エリアにおける路上駐車要因を車種別・視点別に分析した。

路上駐車要因の分析(その1)

	視点	乗用車	貨物車
秋葉原駅東側地区	1) 目的施設種類の割合	事務所 : 9/9 施設 (100%)	事務所 : 19/24 施設 (79%) 商業施設 : 2/24 施設 (8%) 集合住宅 : 2/24 施設 (8%) 宿泊・遊興施設 : 1/24 施設 (5%)
	2) 目的地までの移動距離	事務所 : 14~50m (平均約 35m)	12~68m (平均約 35m) 30m 以内 (25%)、50m 以内 (92%)
	3) 駐車時間	・10分~20分程度の短時間駐車(事務所直近)が見られる一方、1時間~2時間以上の長時間駐車もある	・10分~20分程度の短時間駐車が12件/19件 ・1時間以上の長時間駐車が6件
	4) 駐車場空白区域	・駐車場の100m圏域に含まれる	・駐車場の100m圏域に含まれる
秋葉原駅西側地区	1) 目的施設種類の割合	商業施設 : 13/15 施設 (87%) 事務所 : 2/15 施設 (13%)	商業施設 : 8/11 施設 (73%) 宿泊・遊興施設 : 3/11 施設 (27%)
	2) 目的地までの移動距離	商業施設 : 11~124m (平均約 47m) 事務所 : 15~61m (平均約 38m)	6~85m (平均約 39m) 30m 以内 (45%)、50m 以内 (64%)
	3) 駐車時間	・商業施設利用は、主に30~60分(その内、目的地まで20m以内の近距離では120分以上) ・事務所利用は、30分以内	・10~20分程度の短時間駐車が6件/8件 ・1時間以上の長時間駐車が1件
	4) 駐車場空白区域	・駐車場の100m圏域に含まれない区間が一部見られる	・駐車場の100m圏域に含まれない区間が一部見られる
新宿西口地区	1) 目的施設種類の割合	事務所 : 12/21 施設 (57%) 商業施設 : 6/21 施設 (29%) 宿泊・遊興施設 : 3/21 施設 (14%)	商業施設 : 6/11 施設 (55%) 事務所 : 4/11 施設 (36%) 宿泊・遊興施設 : 1/11 施設 (9%)
	2) 目的地までの移動距離	事務所 : 15~142m (平均約 66m) 商業施設 : 41~102m (平均約 73m) 宿泊・遊興施設 : 56~69m (平均約 62m)	11~91m (平均約 45m) 30m 以内 (45%)、50m 以内 (45%)
	3) 駐車時間	・目的施設の種類に関わらず、主に60分以上の長時間駐車が多い	・10~20分の短時間駐車が4件/7件 ・1時間以上の長時間駐車が1件
	4) 駐車場空白区域	・新宿駅側の車両進入禁止区域は、駐車場の100m圏域に含まれない	・新宿駅側の車両進入禁止区域は、駐車場の100m圏域に含まれない
銀座地区北側	1) 目的施設種類の割合	事務所 : 3/4 施設 (75%) 商業施設 : 1/4 施設 (25%)	事務所 : 7/9 施設 (78%) 商業施設 : 2/9 施設 (22%)
	2) 目的地までの移動距離	商業施設 : 21~32m (平均約 27m) 事務所 : 20m	13~78m (平均約 25m) 30m 以内 (89%)、50m 以内 (89%)
	3) 駐車時間	・商業施設利用の3件は10分、20分、140分 ・事務所利用の1件は80分	・10分~20分程度の短時間駐車が4件/8件 ・1時間以上の長時間駐車が1件
	4) 駐車場空白区域	・駐車場の100m圏域に含まれない区間が一部見られる	・駐車場の100m圏域に含まれない区間が一部見られる

路上駐車要因の分析(その2)

	視点	乗用車	貨物車
銀座地区南側	1) 目的施設種類の割合	宿泊・遊興施設：5/9 施設 (56%) 事務所：3/9 施設 (33%) 商業施設：1/9 施設 (11%)	宿泊・遊興施設：14/19 施設 (74%) 商業施設：5/19 施設 (26%)
	2) 目的地までの移動距離	宿泊・遊興施設：11~17m (平均約 15m) 事務所：14~83m (平均約 42m) 商業施設：20 m	13~63m (平均約 24m) 30m 以内 (84%)、50m 以内 (95%)
	3) 駐車時間	・目的施設の種類に関わらず、主に60分以上の長時間駐車	・10分~20分程度の短時間駐車が10件/19件 ・1時間以上の長時間駐車が6件
	4) 駐車場空白区域	・概ね駐車場の100m圏域に含まれるが、街区内は小規模駐車場のみであり、容量不足の可能性有り	・概ね駐車場の100m圏域に含まれるが、街区内には小規模駐車場のみであり、容量不足の可能性有り
日本橋地区北側	1) 目的施設種類の割合	事務所：10/28 施設 (36%) 駅施設：10/28 施設 (36%) 商業施設：7/28 施設 (24%) 宿泊・遊興施設：1/28 施設 (4%)	商業施設：1/2 施設 (50%) 事務所：1/2 施設 (50%)
	2) 目的地までの移動距離	事務所：15~175m (平均約 39m) 駅施設：132~175m (平均約 150m) 商業施設：6~81m (平均約 34m) 宿泊・遊興施設：17m	31~36m (平均約 34m) 30m 以内 (0%)、50m 以内 (100%)
	3) 駐車時間	・駅施設利用は、60分以上の長時間駐車が見られる ・事務所利用は、30分以内の駐車時間である	・10分以内の短時間駐車が1件/2件 ・1時間以上の長時間駐車は見られない
	4) 駐車場空白区域	・概ねの範囲が駐車場の100m圏域に含まれる	・概ねの範囲が駐車場の100m圏域に含まれる
日本橋地区南側	1) 目的施設種類の割合	事務所：14/16 施設 (88%) 駅施設：2/16 施設 (12%)	事務所：8/9 施設 (89%) 宿泊・遊興施設：1/9 施設 (11%)
	2) 目的地までの移動距離	事務所：22~104m (平均約 45m) 駅施設：141~144m (平均約 143m)	17~44m (平均約 30m) 30m 以内 (78%)、50m 以内 (100%)
	3) 駐車時間	・駅施設利用は、120分以上の長時間駐車 ・事務所利用は、主に30分以内の駐車時間であるが、1時間を超える長時間駐車もある	・10分~20分程度の短時間駐車が7件/9件 ・1時間以上の長時間駐車が2件
	4) 駐車場空白区域	・概ねの範囲が駐車場の100m圏域に含まれる	・概ねの範囲が駐車場の100m圏域に含まれる

5 エリア見直しによる路上駐車実態（神保町駅・品川駅・高田馬場駅）

- 対象3地区では、概ね500m四方となるよう調査対象範囲を見直し、他地区の調査範囲面積との整合が図られた。
- 調査エリア拡大によって、各地区の調査範囲に含まれる四輪駐車場数が従来の約2～3倍に増加した。特に品川地区では、駐車場数だけでなく、総収容台数も約2倍に増加した。
- 四輪の駐車場利用率は平日の神保町で向上したものの、宅地側に調査範囲を拡大した高田馬場地区や、オフィスビル側のエリアを追加した品川地区では、駐車場数の増加に対して利用者数の増加は少なく、利用率は減少した。一方で、二輪の駐車場利用率は全地区で比較的高く、過年度と同様の傾向にある。
- 四輪の路上駐車台数は調査範囲の拡大に伴い、神保町地区及び品川地区では約1.4倍増加した。
- 駐車需給バランスで見ると、四輪では各地区とも調査範囲の拡大による駐車場総収容台数の増加に対して路上駐車台数の増加が少なかったため、需給バランスが確保される結果となった。二輪では過年度と同様に、需給バランスが確保できていない傾向となった。

6 立川駅周辺地区における路上駐車実態（立川駅北口・南口）

- 立川駅周辺における路上駐車実態把握のため、立川駅の北側と南側それぞれ概ね500m四方の調査範囲を設定し、調査を実施した。
- 立川駅周辺地区では、南北合わせて約150箇所の四輪駐車場が立地しており、総収容台数は南北それぞれ約2,000台が確保されている。二輪については、北口で約90台、南口で約170台となっている。
 - 立川駅北口では、比較的大規模な商業施設が立地していることから、駐車場利用率が四輪、二輪ともに約7割と高くなっている。
 - 四輪の路上駐車台数は南北とも、平日ピーク時で100台/時程度となっており、23区内の他地区に比べれば、比較的少ない結果となった。
 - 需給バランスで見ると、南北とも駐車場総収容台数が路上駐車台数を大きく上回っており、四輪、二輪ともに需給バランスは確保されている。

7 今後の調査方針

- 路上駐車アンケート調査等の他地区への拡大
- 周辺駐車場の満空状況調査による、路上駐車発生時の「真の駐車容量」の把握、効率的な駐車場への誘導の検討。
- 路上駐車要因を踏まえた、関係機関（自治体・警察機関等）との連携による社会実験の提案、実施等

【実験例①】オリンピック開催を見据えた、ETC2.0活用による路上駐車監視システムの検討

【実験例②】貨物路上駐車発生箇所・発生時間を踏まえた、貨物車専用PM・PT等の設置による効果の検証 等